

ハンディ・ターミナル連動システム

事例①食品発送 出荷検品システム

Point 1



受注入力→梱包→発送
作業時間の短縮

Point 2



出荷データから
売上データ自動生成

Point 3



賞味期限などの
チェック機能あり

- ハンディターミナルを使って指示書に基づきピッキング
- ピッキングデータ(出荷データ)から売上データ自動生成
- パッケージソフトとの連動も可能です

<目的・効果>

受注の入力から梱包⇒発送までの作業時間の短縮と効率化のために導入。
従来は入力した受注の内容をリストには印刷していたが、手検品による作業のために発送までの時間が掛っていた。

本システムの導入によりHHTを使用した検品作業により発送までの作業時間の短縮化および出荷実績のHHTからの売上データの自動作成により入力処理に関する負荷も軽減された。

また賞味期限のチェック機能により前回出荷した商品よりも古い賞味期限の商品の出荷を防ぐことが可能になった。

使用機器：BT-1000 (KEYENCE社製)

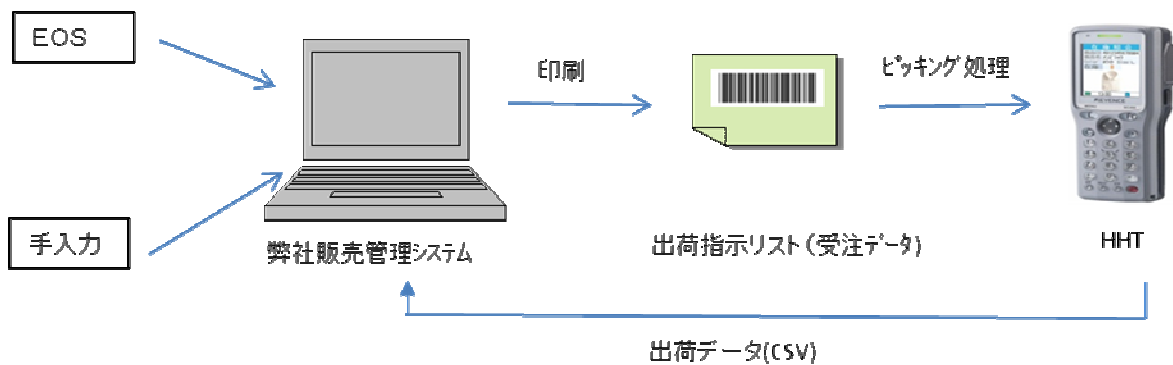
※HHT内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

※PCとHHT間は専用のクレイドルを用いて接続しております。

使用ソフト：UNIPAAS VI PLUS (MagicSoftwareJapan社製)

機能詳細は裏面で

出荷検品システムの概要



出荷処理画面

得意先: 123

商品: 426373963101
アーモンド炒り
受注No: 987654320002
最終出荷: 2010/08/11
賞味期限: 2014/11/06
数量: 10
[F1]: 得意先変更 [F3]: メニュー
11:50

最終出荷日以前の賞味期限を入力時はエラー



バーコード内容
・得意先
・商品
・受注No
・最終出荷日

出荷指示リスト

HHT画面

出荷データ取込画面

データ連携ソフト取込
データ連携ソフトを起動後、パソコンから出荷データを連携していただくソフトを終了させ、各端末ボタンを押すことでシステムに取込されます。

データ連携ソフト取込 入力データ取込 出力データ取込 照合データ取込

終了 閉

出荷データ取込画面

出荷指示リスト

受注No	商品名	数量	最終出荷日	賞味期限
987654320002	アーモンド炒り	10	2010/08/11	2014/11/06

警告: 位置No [10077] < 10000 範囲外でした

資料請求・お問合せ

開発元 有限会社 アドバンス情報システム
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通2-50
RKビル4F

ハンディ・ターミナル連動システム

事例②誤出荷防止 出荷検品システム

Point 1



受注データと製品表でマッチング
誤出荷を防止

Point 2



出荷データから
売上データ自動生成

Point 3



パッケージソフトとの
連動も可能

- ハンディターミナル内で受注データと製品表でマッチングさせリアルタイムに誤出荷の確認ができます。
- ピッキングデータ(出荷データ)から売上データ自動生成
- パッケージソフトとの連動も可能です(カスタマイズが必要です)

<目的・効果>

同一品番でサイズの異なる製品は存在する為誤出荷が発生。
検品システムを導入することでスムーズな検品が行え、誤出荷の発生が少なくなった。

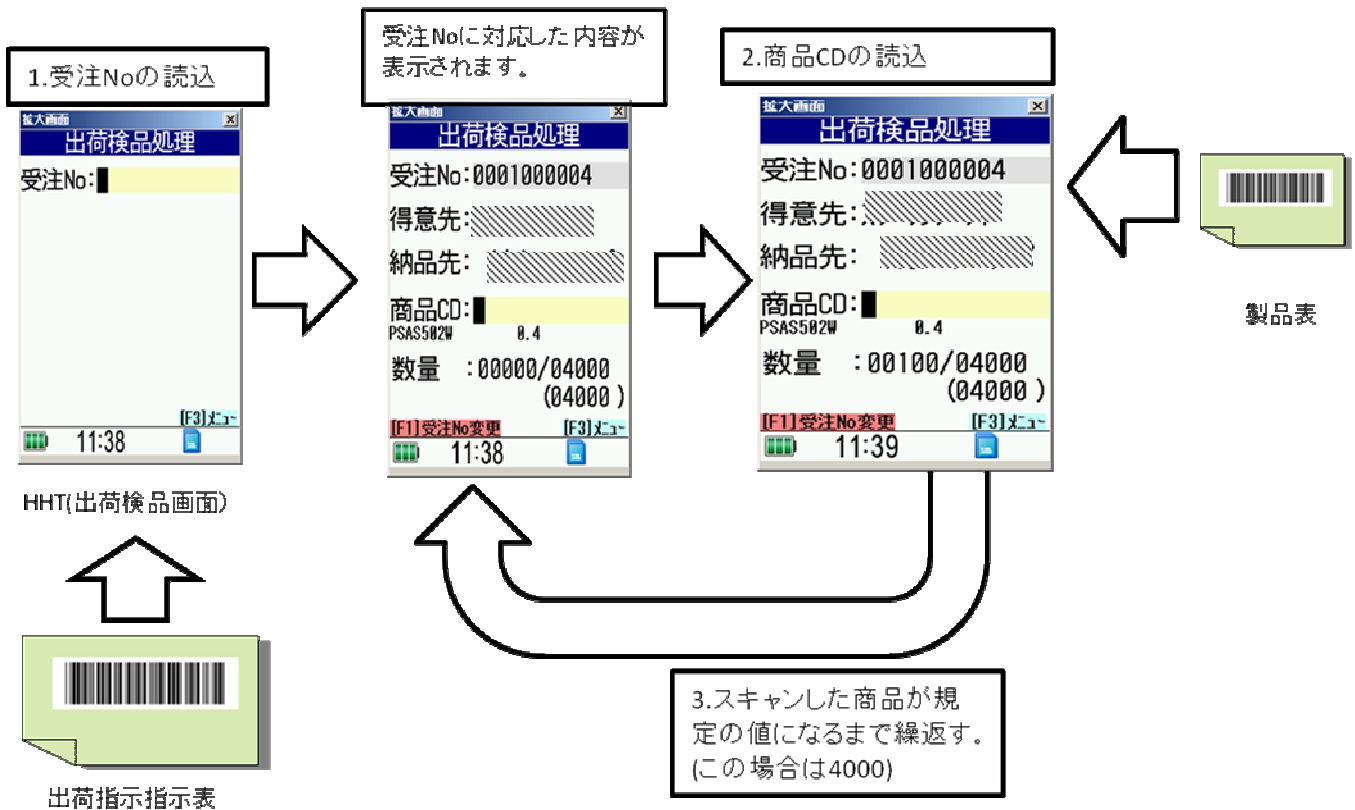
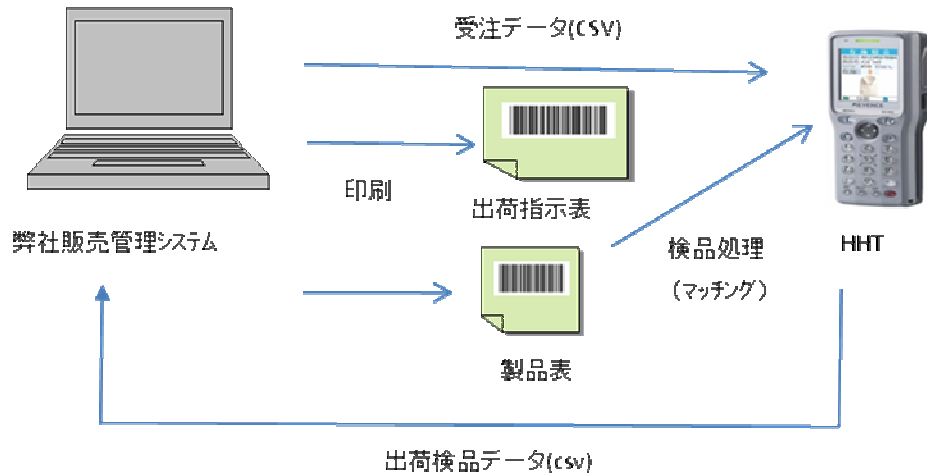
使用機器: BT-1000 (KEYENCE社製)

※HHT内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

※PCとHHT間は専用のクレイドルを用いて接続しております。
使用ソフト: UNIPAAS VI PLUS (MagicSoftwareJapan社製)

機能詳細は裏面で

出荷検品システムの概要



資料請求・お問合せ

開発元 有限会社 アドバンス情報システム
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通2-50
RKビル4F

ハンディ・ターミナル連動システム

事例③ 物品販売 入力支援システム

Point 1



商奉行とのデータ連携

Point 2



顧客分析を実現

Point 3



バーコード活用で
入力操作を簡素化

- バーコードを多用して入力業務を簡素化
- 年齢、性別、購入理由などを入力して顧客分析を行えます。
- 他のパッケージソフトとの連動も可能です(カスタマイズが必要です)

<目的・効果>

物品販売後の結果を既存で使用している商奉行への売上データの入力作業を軽減するため。
物品販売時にHHTにて読込を行うため、弊社システムを経由することによって売上データを自動的に商奉行に作成することが可能になり入力作業が軽減された。
またHHTで商品以外の情報を取得することによって、購入する顧客の情報(年齢、性別、購入理由)を出力することが可能になった。

使用機器: BT-1000 (KEYENCE社製)

※HHT内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

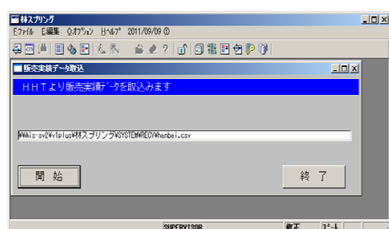
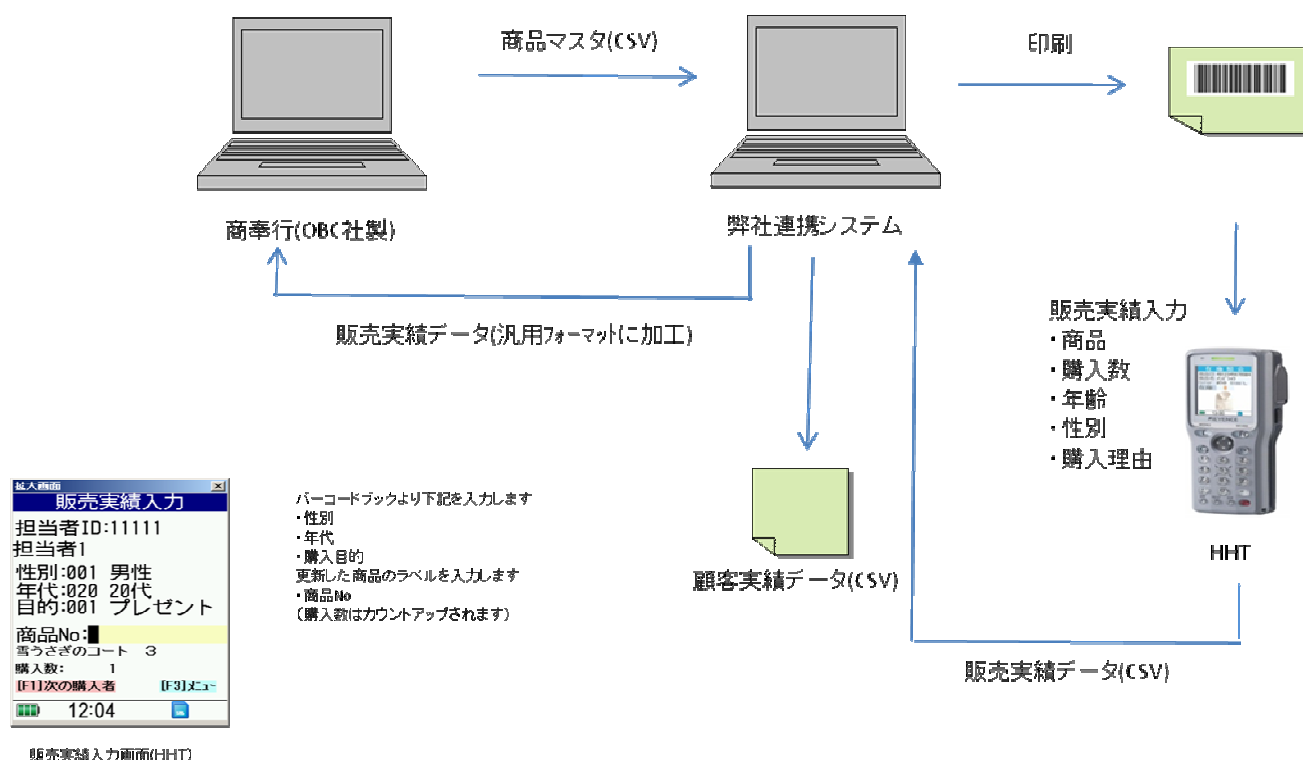
※PCとHHT間は専用のクレイドルを用いて接続しております。

使用ソフト: 商奉行(OBC社製)

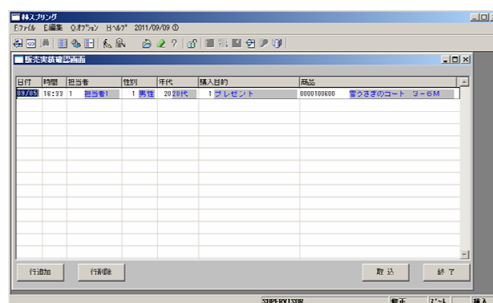
UNIPAAS VI PLUS (MagicSoftwareJapan社製)

機能詳細は裏面で

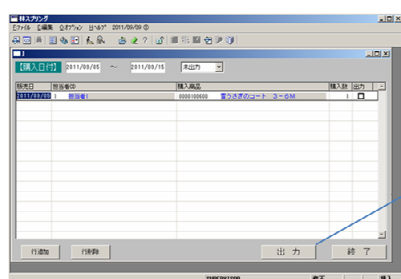
物品販売 入力支援システムの概要



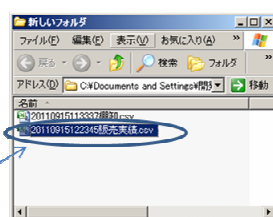
販売実績データ取込画面



HHT内の販売実績データをPC内に取込ます



販売実績データ出力画面



作成したファイルは商蔵奉行に取込ます。

資料請求・お問合せ

開発元 有限会社 アドバンス情報システム
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通2-50
RKビル4F

ハンディ・ターミナル連動システム

事例④ 組立部品払出ミス防止 生産管理システム

Point 1



QRコードを使った部品管理

Point 2



ハンディターミナルだけ
部品チェックが可能

Point 3



携帯プリンタ(bluetooth)
に部品払出証を印刷

- QRコードを使って部品管理を行います。
- ハンディターミナルの製品仕様書と部品とを照合
- ハンディターミナルだけで部品のチェックが可能です。
- 携帯プリンタ(bluetooth接続)に部品払出証を印刷できます。

<目的・効果>

製品組み立ての際に使用する部品払出ミスの発生の軽減のため。
製品仕様書にQRコードを追加することで製品に使用する部品とのHHTによる照合が可能となり、更にその内容を携帯プリンタに印刷することが可能となり結果を製品仕様書に添付することによって製品の組み立て時の部品払出ミスが減少した。

使用機器

BT-1500WB (KEYENCE社製)
BT-PR2(携帯プリンタ) (KEYENCE社製)

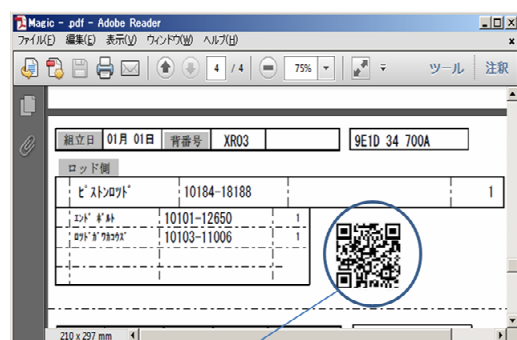
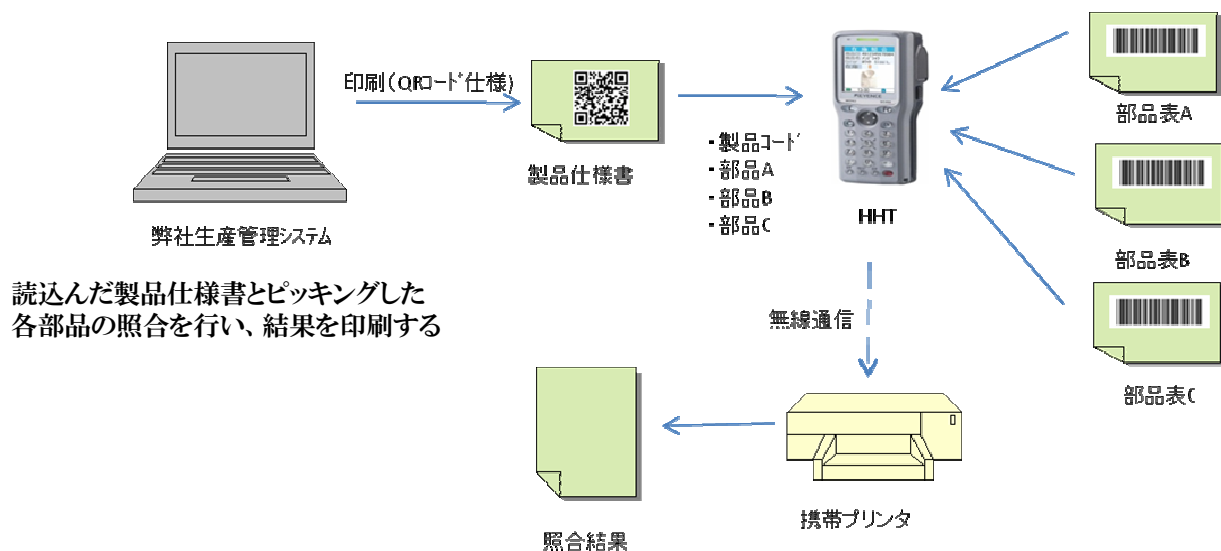
※HHT内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

※PCとHHT間は専用のクレイドルを用いて接続しております。

使用ソフト: DdMagic V8 (MagicSoftwareJapan社製)

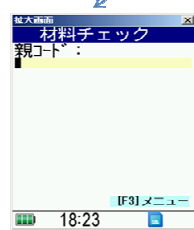
機能詳細は裏面で

生産管理システムの概要

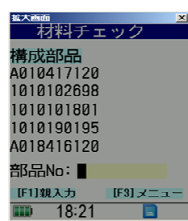


製品仕様書

QRコード内には
製品コード+各部品
コードは格納され
ています



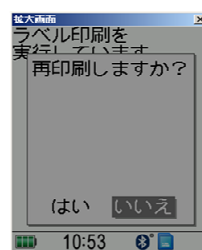
材料チェック画面(ハンディターミナル)



QRコードを読むと
内容が画面に展
開されます。



読込んだ部品コードが該
当するとその部品に○
が付きます



すべての部品のチェッ
クが完了するとプリンタに
印刷処理を行います

資料請求・お問合せ

開発元 有限会社 アドバンス情報システム
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通2-50
RKビル4F